

昔からの街と新しい街が共存するまち

# 井田学区

IDA



## 井田小学校の活動紹介

### 井田学区唯一の田んぼ「井田んぼ」

井田学区には、かつてあちこちに田んぼが広がっていたそうです。しかし、近年急速に進んだ宅地造成により、いつの間にか学区に田んぼがなくなってしまいました。そこで平成25年、「学区唯一の田んぼを作ろう」と、地域の方々のご協力を得て、学校の中庭にできたのが「井田んぼ」です。目の前で稲の成長が観察でき、折々に稲作名人のご指導が受けられ、素晴らしい学習をすることができています。



早乙女姿の5年生代表児童による、田植えのデモンストレーションのシーンです



5年生が田植えをする前に、1年生が田んぼに入り、代かきの目的で「どろんこ遊び」をします。この子が手に持っているのは、どろんこに潜んでいたジョウです

### マスコットキャラクター 井田ッキー



#### 井田ッキーの歩み

平成24年 全校児童応募作品の中から児童の投票で決定  
平成25年 井田ッキー誕生。学習や学校・学区の行事に登場  
平成26年 岡崎応援キャラクター隊に認定

## （ジュニアキャビネット） 平成28年度前期JC委員からの 未来へのメッセージ



PR部長 永田 優樹くん  
井田小は、緑がいっぱいで、井田んぼや井田ッキーなど魅力がいっぱいなので、ずっと輝いてほしいです。



会計 稲吉 爽さん  
井田んぼは、いろいろな人と触れ合えます。未来に向けて井田んぼを、もっとよくなってほしいです。



副会長 春日井 耀大くん  
学校に井田んぼがあることで、昔の井田について学べます。この田んぼで昔の井田を伝えていきたいです。



会長 水野 友翔くん  
親しみやすく優しい人がいっぱい井田学区が、これからもずっと続いてほしいです。

担当教師 岩野 慎也先生  
明るくて素直で、パワー全開の井田っ子達。みんなの良さをこれから先も引き継いでほしいです。



元気部長 小野 未来さん  
みんなで協力して作る井田んぼのお米は、最高に嬉しいです。これからも大切に守り続けていきたいです。



環境部長 駒形 希星くん  
井田小学校には、かわいいライオンの井田ッキーがいます。井田ッキーをこれからも残していきたいです。



ハート部長 則包 真優さん  
井田小は児童数が多いですが、全校の触れ合いを大切にしています。力を合わせ井田んぼを守りたいです。



### 編集後記

「昔からの街と新しい街が共存するまち」、それが井田学区です。この1年、作成委員みんなが「何を掲載することが井田学区を象徴することになるのだろうか？」と膝を突き合わせ、率直に意見交換する貴重な機会となりました。また、子どもたちが発想する「井田遺産」の着眼点のユニークさには本当に感心させられました。この「まちものがたり」を読まれた学区の皆様が、「ふるさと井田」について語るきっかけとなり、子どもたちが、いつまでも井田学区を愛し続けてくれることを願って結びの言葉といたします。

〔作成委員会〕 中根正和/蜂須賀淑元/足立文男/倉地初男/鈴木正信/渡邊則雄/柏原文男/荻野卓寛/荒河昌吾/後藤芳章/加藤弘美/志賀邦宏/井田小学校児童会ジュニアキャビネット

〔参考資料〕 開校60周年記念「私たちの学び舎 井田」/葵 創立40周年記念誌/岡崎市勢要覧 昭和12年/岡崎牧場 統合移転・施設竣工記念誌

〔表紙写真〕 井田んぼを囲む井田ッキーと平成27年度5年生児童、総代会長、社教委員長、井田んぼ名人のみなさん



1832年(天保3)の井田村絵図



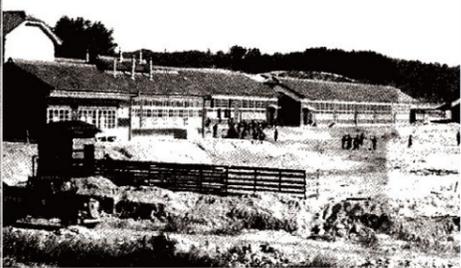
昭和4年の種鶏場用地地図



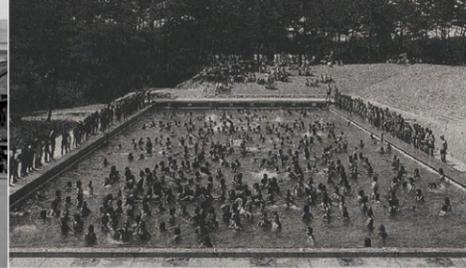
種鶏場庁舎



昭和16~18年頃の高野精密工業



山に囲まれた木造校舎



プール完成にはしゃぐ生徒たち



市内電車(名鉄資料館所蔵)

# 井田学区のなりたち

弥生時代  
応仁〜天文年間  
天文年間  
江戸時代

字山王で弥生式土器を制作  
井田野合戦(4回)  
酒井左衛門尉(忠次)が井田城主となる  
井田村は260年間余り岡崎藩領であった…  
伊賀・井田2か村組合で伊賀村西郷中旧郷庫に八幡学校を創立  
市制町村制施行。広幡村は伊賀・井田・能見・日名の4大字で編制される

一八七四年 ■ 明治7  
一八八九年 ■ 明治22  
一八九五年 ■ 明治28  
一九一四年 ■ 大正3

井田―殿橋間の道路幅員が6間に拡幅  
広幡尋常小学校開校(井田小学校の前身)  
広幡尋常小学校に広幡幼稚園付設  
岡崎電気軌道(市電)が殿橋―井田間2.5キロメートル開通  
岡崎電気軌道(市電)が井田―細川門立まで開通  
農林省岡崎種鶏場開場…  
高野精密工業(現リコエレクトックス)岡崎工場開設…  
井田町発展会結成、翌年あおいマート開店  
井田小学校開校(広幡小学校より分離)…  
葵中学校に5メートルプール新設…  
井田町11区町内会組織編成  
常磐村が岡崎市に合併。真伝町は井田学区に編入

一九一九年 ■ 大正8  
一九二三年 ■ 大正12  
一九二四年 ■ 大正13  
一九二九年 ■ 昭和4  
一九四一年 ■ 昭和16  
一九五〇年 ■ 昭和25  
一九五一年 ■ 昭和26

市電廃止…  
マダムセンター開店  
井田いこいの家竣工(城山公園)  
働く婦人会館竣工  
松橋地区の開発が開始される  
愛知県岡崎総合運動場開場  
北部公会堂(旧市役所議事堂)移築  
松橋町・稲熊4区・石神町・伊賀新町誕生  
井田公園完成  
井田小学校が広島県福山市の鞆小学校と姉妹校の縁結び  
稲熊4区・石神町・伊賀新町・真伝町が加わり15町内に、翌年松橋町が加わり16町内となる  
井田学区市民ホーム竣工、翌年井田学区こどもの家開館  
井田12区が創立(5区と分かれる)、17町内会となる  
第1回井田大運動会開催(学区と小学校の合同)  
真伝町が1区・2区・3区と分かれ19町内会となる  
真伝3区が分かれ4区を創立し20町内会となる  
第1回井田ふれあいコンサート開催  
第1回井田ふれあい文化祭開催(学区と小学校の合同開催は2013年から)  
真伝4区が分かれ5区が創立し、21町内会となる  
井田小学校マスコットキャラクター・井田ッキー誕生  
井田小学校に「井田んぼ」開墾

一九五三年 ■ 昭和28  
一九五五年 ■ 昭和30

一九六二年 ■ 昭和37  
一九六五年 ■ 昭和40  
一九六六年 ■ 昭和41  
一九六八年 ■ 昭和43  
一九七〇年 ■ 昭和45

一九七一年 ■ 昭和46  
一九七二年 ■ 昭和47  
一九七六年 ■ 昭和51  
一九八五年 ■ 昭和60  
一九九一年 ■ 平成3  
一九九九年 ■ 平成11  
二〇〇〇年 ■ 平成12  
二〇〇四年 ■ 平成16  
二〇〇八年 ■ 平成20  
二〇一一年 ■ 平成23  
二〇一二年 ■ 平成24  
二〇一三年 ■ 平成25

井田ッキー



「あおいマート」や「マダムセンター」は、個人商店が集まる集合店舗でした。八百屋や魚屋、本屋、床屋などの様々なお店が10数店舗軒を連ね、買い物を楽しむ住民でにぎわいました

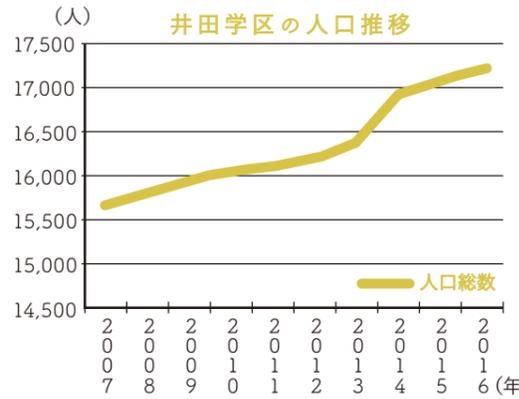
DATA

人口	17,203人
男性	8,634人
女性	8,569人
世帯数	6,823世帯
面積	3.11km <sup>2</sup>

[2016年7月1日現在]

## 岡崎一の人口を誇る学区

井田学区は岡崎市内で最も人口が多い学区です。人口の伸び率も大きく、ここ10年間で約1500人増加しています。これは真伝地区の土地区画整理事業が進み大規模な住宅街が開発され、新しい街が誕生したことが大きな要因となっています。また、井田小学校も児童数11000人を超える岡崎一のマンモス校です。



## 地域の多様な行事

井田学区は21町から成っており、それぞれの地域で様々な行事が行われています。井田町1区〜12区の「井田夏祭り」、真伝町の「真伝盆踊り大会」、松橋町の「納涼盆踊り大会」など、各地域で夏祭りを楽しみ、絆を深めています。

学区に関係する神社は、井田町各区の井田八幡宮、伊賀新町・石神町の伊賀八幡宮、稲熊4区の稲前神社、松橋町の舘播神社、真伝町の経津主神社の5社があり、各神社で特色ある秋祭りが繰り広げられます。



井田夏祭りの様子。昼過ぎから出店が並び、のべ2000人ほどの人出でにぎわう

井田小の子どもたちがみつけた

# まちものがたりマップ

豊かな自然に囲まれ、夏祭りなどの楽しいイベントがもりだくさんの井田学区。そんな学区の児童たちに、まちのすてきな場所を教えてもらいました。

## 井田遺産



**A 城山公園 (井田城址)**  
徳川家康の四天王と呼ばれた武将、酒井忠次が生まれた井田城の跡。城址公園とも呼ばれる。お城だったから守りやすいように高い場所にあり、景色がいい

## 井田遺産



**B 地獄坂**  
すごく急でめちゃくちゃ疲れる。まさに地獄の坂。この近くに住む人は、毎日登下校で上がったり、下ったりしてるなんてすごい!



## 井田遺産



ふるさと  
**井田遺産認定とは**  
井田小の児童がみつけた、未来に残したい学区のたからものを「ふるさと井田遺産」として認定しました。

## 井田遺産



**F 赤山公園 (たまご岩)**  
赤山公園の中に丸くて大きな岩を「たまご岩」と呼んでいる。自分で名付けた。すごく大きくて高さがあるので上がるのが大変。でも、上からの景色は最高!

## 井田遺産



**F 赤山公園 (ゴツゴツ岩)**  
赤山公園にある岩。岩がゴツゴツでおもしろい。大きな石がたくさんある。見学のときは、近くに蜂の巣があるから注意してね

## 井田遺産



**D 井田交差点歩道橋近くの歩道にあるトイレ**  
この道路は昔、市電が走っていて、そのころの名残らしい。昔からあるけど、ちゃんと壁が塗り直してあってとてもきれい。もちろん普通に使えるよ

## 井田遺産



**C おじぞうさん**  
おじぞうさんたちが、学区のみんなを見守ってくれている。たまに見ると、服の布が変わっていておもしろい。じぞう祭りもあるよ

## COLUMN K 真伝の円空仏像



昭和47年に真伝八幡神社の社の中から毘沙門天像と不動明王像の円空仏が発見されました。現在は岡崎市指定文化財として岡崎市美術館博物館に保管されています。円空(1632~95)は江戸時代の修験僧で岐阜県生まれ。全国各地を遊行するなかで同社を訪問した際の作品と思われる。

## 井田遺産



**G 猫沢池近くのお花畑**  
きれいなお庭。春は、芝桜が川や滝のようになっていてすてき。1さんという方が、お花が大好きで大切に育てている



**J 経津主神社**  
真伝町の氏神。毎年10月第1土曜に秋の例大祭が行われ、子どもの巫女の舞や御輿が奉納される。写真は例大祭で巫女の舞を踊る前の緊張した様子



**H 東名高速道路 井田橋**  
井田小の東側エリアに住んでいる児童は、東名高速道路に架かる井田橋を渡って通学している。高速道路がある学区でしか見られない珍しい光景



**H 吉祥中央公園**  
8月の第2土日に真伝盆踊り大会が開催される。昭和50年代から続いており、今では当時子どもだった人たちが実行委員として活躍している

# ふれあいの街 井田

昔からの街と新しい街の住民の交流と  
さまざまな深める取り組みを紹介します。

地域と学校が一体となって楽しめる  
**井田ふれあい文化祭**

様々な趣味や特技を持った地域の人の発表の場、そして住民同士の交流の場として、平成23年度から始まり、以降毎年11月に開催しています。

### これまでの経緯

平成23年度と24年度は、学区市民ホールで開催し、地域住民の絵画・書画・写真・手工芸品などの作品展示を中心に、講演会や喫茶コーナーなども設けました。300人ほどの入場者があり、規模は小さいながらも住民同士がふれあえる楽しい文化祭になりました。

平成25年度からは井田小学校と地域（役員は総代会・社教・女性の会・PTA・井田小フアザーズなど）の共催となり、学年ごとの行事も行われるなど、催し物も多彩になりました。会場は井田小体育館で、入場者は千人を越え（児童を含めれば2千人！）学区の多くの住民にふれあい文化祭が認知されるようになりました。

### 文化祭の様子

地域住民と児童の作品に加え、葵中学校美術部や井田保育園・レオナ幼稚園などの園児の作品も展示しています。また、「家康公400年祭」展や「市制100周年記念」展など時宜にあった特別展も開催しています。

### ◆ 児童の行事 ◆

- 1年生** 昔の遊びなどのお年寄りとのふれあい
- 2・3年生** 授業参観
- 4年生** 住民や保護者と一緒に五万石踊り
- 5年生** 「井田んぼ」で収穫したお米を使った餅つき（平成27年度は五平餅）
- 6年生** ふるさと学習発表会や講演会など

### ココにも注目！ あいさつ・声かけ運動

文化祭に出展する作品募集と同時に、あいさつを啓発する標語を児童・住民から募集しています。最優秀作品は児童・住民それぞれの作品を横断幕にして井田小のフェンスに張り出しています。



5年生がふるまった五平餅（平成27年度）



文化祭当日は各門で役員が「あいさつ運動」の幟を持って児童一人ひとりに挨拶をして迎える

### 平成27年度の様子



市制100周年記念展示

みんなで踊る盆踊り

大人の作品

子どもの作品

### 三世代の住民が音楽でつながる 井田ふれあいコンサート

#### これまでの経緯

平成20年度から2年間、家庭教育推進モデル地区に指定されたことを受け、学区の三世代の住民と一緒に楽しめるイベントとして、岡崎市シビックセンターコンサートホール・コネットにて「ふれあいコンサート」を行うことになりました。平成20年度の第1回目（21年2月開催）は、井田学区家庭教育推進協議会主催、井田学区総代会後援により開催。出演団体は、井田小学校金管バンド部、井田学区パパさんコーラス隊、井田小PTA & OGコーラス、老人クラブ「童謡を歌う会」で、学区の三世代の住民が同じ舞台に立ちました。21年度の第2回目も同規模で開催しました。

コンサート開催のきっかけである家庭教育推進モデル地区事業は平成21年度で終了しましたが、地域にこのコンサートが根付きつつあったため、パパさんコーラス隊が会費から財源を捻出し、3回目を自主開催。以降、内容を見直ししながら毎年開催し、27年度で8回目を迎えました。

### コンサートの様子

出演団体は、パパさんコーラス隊を中心に、学区で活動している音楽団体や井田小の金管バンド部、パトナ部、合唱部も参加し、学区の住民と一緒に楽しむ機会になっています。日頃の練習の成果を披露する場として、さらに普段あまり使用することのないコネットが会場ということもあり、練習のモチベーションを高めることにつながっています。



コンサートのフィナーレでは参加者全員で合唱をする

### 地域の活動

#### 地域安全パトロール隊

地域安全をめざして、平成11年に岡崎市で一番早く井田学区地域安全パトロール隊が結成されました。現在は22人の隊員で活動しています。

活動内容は、毎月第2・第3金曜日19時に市民ホームに集合し、井田小・葵中・学区内の公園などを中心に青色回転灯をつけた車で学区全域をパトロールしています。その日以外は各隊員の地元でそれぞれ巡回パトロールを行い、安全・安心な街づくりに努めています。

#### 地子会

地子会は平成16年「地域」の力で子どもたちを守る会」として発足し、19年に岡崎市自主防犯活動団体に登録する際、名称を短縮して「地子会」に変更しました。

登録会員は370余名あり、パトロール中のステッカーを車や自転車に貼ったり、腕章をつけて歩いてもらうなど、それぞれの会員ができる範囲で防犯を呼びかけています。

また、特に老人クラブの方々を中心に井田小の低学年児童の下校時間に合わせて、学区内の交差点での見守り活動を行い、児童を交通事故や不審者などの危険から守る活動をしています。

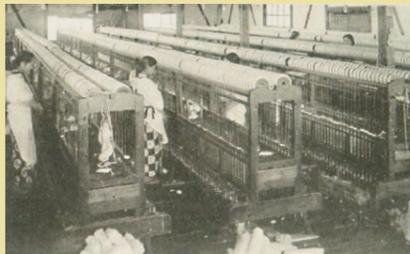


児童の下校時間に行う学区見守り活動

### 井田学区の昔を知る

key word

### ガラ紡



「岡崎市勢要覧 昭和12年」より

井田方面にガラ紡が戦後発達したのは、電力が供給されるようになったこと、安くて広い土地があったことに加え、能見町の問屋にも近く、配電線の引き込みも便利であったことなど有利な条件が複数あったことが挙げられます。その後、合成繊維や化学繊維の台頭、中国の安価な糸の登場などにより衰退していききました。ガラ紡の織維会社の工場跡地の多くは現在住宅地になっています。